



# 6mSSBモバイル移動運用記

50.240SSBモバイルグループでは、「より強く、より遠く」を合言葉に、モバイルからの遠距離交信確立のため、モバイルのノイズ対策、リグの感度アップ、アンテナの研究などに務めております。

私も、常々モバイルからの遠距離交信を心掛けており、今までにも、立川市をモバイル移動中に米沢市のモバイル局、名古屋周辺の固定局と、また、佐渡ヶ島に移動したときは、半固定にしたモバイルから、東京都内走行中のモバイル局と交信した実績があります。

昨年は、夏季休暇を利用して、XYL(JJ1SXB)と新潟方面から東北方面にかけてドライブ旅行し、思いがけない所からの遠距離交信ができました。

設備は、ニッサン・シルビアのリヤバンパーに8入ホイップ・アンテナを取り付け、リグはトリオのTR-9300(受信ブリアンプ組込)を使用しました。

8月9日夕方、立川市を出発し、所沢インターより関越道路にはいり、新潟方面に向かいました。前橋インターまでの間は、都内方面の固定局、モバイル局と安定した交信ができました。国道17号線に出て、しばらくはその状態が続いた後、一部交信不能の地点もあり、沼田市に近づくと、またメリットがよくなりました。三国峠では急激なロケーションの変化のため、QSBがあつて、メリット2に落ちる所もありましたが、交信は継続してできました。

三国トンネルを抜けて、新潟県にはいった所では、安定した状態がしばらく続き、だんだん聞こえなくなってしまうが、六日町インターから再度、関越道路にはいると、東京方面各局(都内、立川市、田無市、川崎市他の固定局)の信号はメリット5で入感し、ピークでは59のレポートをもらいました。この状態は、長岡ジャンクションを経由、北陸自動車道にはいってもずっと同じ状態で、三条・燕インターを過ぎて、ファイナルを送るまでメリット5で交信が続きまし

両津市のドンデン山の中腹(標高約600m)にモバイルを半固定にして、1エリア、2エリアのモバイルグループの仲間とスケジュールQSOしましたが、固定局はもちろんのこと、都内、福生市、相模原市、春日部市、柏市を移動中の各モバイル局ともFBな交信ができました。

その後、アンテナを3エレメントの水平八木に替えて、短時間JCCサービスをしました。新潟、長野県のほか、富山、石川、宮城、山形県をはじめ、1エリアは山梨を除く全都県、2エリアは静岡、愛知県、遠くは4エリアの鳥取県の局にもコールされ、たいへんおどろきました。

佐渡に3泊の後、新潟に引き返し、国道7号線を北上、秋田に向かいました。村上市を走行中、都内を移動中のモバイル局が入感、急いでブレークをかけ、メリット5で交信し、鳥海山からの交信を約束し、鳥海ブルーラインに向かいました。

鳥海山ではノイズが多くなり、山頂まで約7キロぐらいの所を道路が走っており、都内方面の信号はまったく受信できませんでした。ただし帰京後のレポートによると、発信したCW信号は319で入感していたとのことでした。

今回の移動では、鳥海山からの交信を目標にしていたので残念に思っていたが、男鹿半島を走行中、都内方面の信号が入感し、当方の信号も確認され、場所も男鹿とわかったようでした。入道崎を回り、寒風山有料道路で山頂(標高355m)をめざしましたが、山頂よりもむしろ少し下り始めた所でよい場所があり、都内、大宮市の固定局とメリット5で交信できました。後は十和田湖より八甲田山の近くを走り、黒石インターより東北自動車に向かいましたが、インター手前約200mの所で、都内で交信中の信号を確認し、レポート交換をして、高速道路にいれば、もっとよく交信できるだろうと期待しましたが、結局はそれきりだめでした。

仙台南インターで、東北自動車道から

都内の固定局と安定した状態で交信ができました。また、次に向かった猪苗代湖の周辺も、都内方面に対しては非常によく、走行しながらの交信ができました。後は郡山インターより東北自動車道に戻り、一路東京へとハードなスケジュールながら、ドライバー、オペレーターを交代で無事旅行を終えました。

モバイルからの10Wの電波もかなり遠距離まで届くということ、固定局の垂直八木アンテナ(スタックの方も含め)のビームの威力、山岳回折等の電波伝搬のおもしろさをつくづくと感じました。

今回の移動は、ドライブ旅行が主目的だったため、偶然に遠距離交信ができたというにすぎませんが、今度は事前調査を十分に、余裕ある日程で、再挑戦してみたいと思います。

JJ1SXA 池 宏昭



SSBでメリットが悪くなればCWは、240の定番、当時の関越道路は一部開通で三国峠は一般道で急峻のカーブの連続、運転中のCW運用は結構きびしかったのを思い出す。下右写真、奥に見えるのは、寒風山頂上の売店、それにしても二人は若いhi

黒石市のモバイルからの電波を、東京の固定局が良く拾ってくれました、SSBでメリットが悪くなりCWで、QTH kuroisi kuroisiと打って尻切れになったが、kuroisiは受信できたようで、後で聞くと「クロイシ」は、何処だ何処だと騒いでいたようです、eスポが開いていないのに、まさか青森からとは思ひもよらなかったのでしょうか。(当時は現在のように、携帯電話は無く、走行中のモバイルでは、無線以外に連絡方法は無かった)